

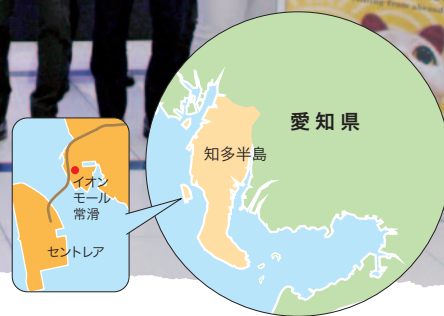
がんばる

Chubu

観光地域づくり編

セントレアとイオンモール常滑が 核となり知多半島の活性化を推進

昇龍道の中部エリアで展開される「観光地域づくり」を紹介する特集。今回の舞台は愛知県の知多半島。セントレア・イオンモール常滑・知多半島が一体となり、地域活性化・魅力あるまちづくりを目指してチャレンジする姿を追う。



大手民間企業の連携が地域に1+1=3以上の相乗効果をもたらす

セントレアの開港を機に進化をはじめる知多半島

愛知県の西部、伊勢湾と三河湾に囲まれた知多半島。新鮮で美味しい海の幸が堪能できるのはもちろんのこと、日本六古窯の一つとされる常滑焼や酒・酢・醤油といった醸造文化、それらの流通で地域経済を支えた廻船業にまつわる史跡など、歴史的に魅力溢れる観光資源も豊富な地域だ。

2005年、常滑市にセントレアが開港すると、知多半島の年間観光入込客数は1,000万人以上も増加。さらに近年、空港島対岸のりんくうエリアに大型商業施設が次々と開業し、新たな賑わいが生まれている。しかし、その集客をいかに知多半島の観光客増加につなげていくかが地域課題の一つとなっていた。

そのような中、立ち上がったのがセントレアとイオンモール常滑(以下、イオンモール)だ。2015年に「CHITA CAT プロジェクト」と称する地域連携プロジェクトを発足し、プロジェクトに賛同する行政、企業、団体もメンバーとして加わり、知多半島の活性化を目指していくことになった。

ライバルが手を結び誕生したプロジェクト

CHITA CAT プロジェクト発足の経緯は、イオンモール開業の約1年前に遡る。りんくうエリアにできる店舗のため、多くのインバウンドを取り込みたいイオンモール。しかし、飛行場だけでなく遊び場としての機能も備えるセントレアは、商業施設として見た場合はライバル関係にあった。

ところが、イオンモールの岡田拓也ゼネラルマネージャーが、セントレアと一緒にできることはないかと鈴木健一営業企画部長を訪ねたところ、二人は意気投合。競合するより連携することで1+1=3以上の相乗効果を生み出そうと、まず取り組んだのが無料でセントレアとイオンモールを結ぶシャトルバスを走らせることだった。そこから、互いの施設を拠点に交流人口を増やし知多半島の活性化につなげていこうと構想はどんどん膨らんでいった。

プロジェクト名の由来

「CHITA」	知多半島
「Centrair」	中部国際空港
「AEONMALL」	イオンモール
「TOKONAME」	常滑

ロゴマーク



プロジェクト名は、地域をつなぐ象徴として頭文字からセントレアの友添雅直社長が考案

イオンモール開業にあわせてシャトルバスの運行を開始した後、CHITA CAT プロジェクトでは分科会を組織し、月1回の合同会議を中心に集客イベントやインバウンドへのおもてなしなどを検討している。「地域の人に参加し、喜び、主役になる」という思いから、会議には常滑市や常滑商工会議所にもオブザーバーとして参加してもらい、地域目線のアドバイスを受けている。

地域とお客様を第一に考えプロジェクトを推進



昨年のお笑いEXPOは、大型台風の影響で2日目のライブが大半中止となったが、それでも来場者は7万人を超えた

「ねこフェスタ」や「りんくう常夏フェスティバル」など、数々のイベントを打ち出す中、最大規模となったのが2017年に開催した「常滑お笑いEXPO in 知多半島」だ。「常に滑らない」「常に滑るか」という字で構成される常滑がお笑いの聖地となることを目指し、史上最大級のお笑いイベントとして100組を超えるお笑い芸人が集結。2日間で全国から10万人以上が来場した。

イベント開催時は、地域への波及効果を生み出すため、知多半島全域から飲食や物販のブース出店を募り、

来場者を常滑市街地まで回遊させ消費を促す企画も実行している。また、イベントに携わることで地域活性化に関心を抱く人が増えることを期待し、1回きりでなく、継続して開催していくことを重視している。

インバウンド向けには、2016年から多言語対応のクーポンを発行。セントレアとイオンモールだけでなく、周辺地域を含め100

店舗以上で割引などのサービスが受けられるものだ。その対象店舗も外国人に喜ばれる店舗へ次々と入れ替えをしている。これは、実績の上からない店舗を切り捨てるためではなく、お客様目線を大切にするという確固たる信念のもとに行っており、改訂を重ねるごと



浴衣姿で「やきもの散歩道」を巡るおもてなしツアーの参加者

に利用者は順調に増加している。

また、インバウンド消費がモノからコトへ移行する状況に対応し、飛行機の待ち時間やセントレア周辺の宿泊者向けに常滑市街地を中心とした体験型おもてなしツアーを2017年から開始。知多半島の活性化事業を担う(株)知多半島ナビがツアーの運営を行っている。



インバウンドが利用できる「CHITA CAT クーポン」

近年人気が高まる“ロゲイニング”で知多半島の交流人口が増加する

知多半島の企業80社による地域貢献

知多半島の観光地域づくりとして、おもてなしツアーを運営する知多半島ナビの活動にも注目したい。知多半島ナビは、榊原裕高代表のもとに集った企業経営者たちによって、2012年に設立された会社で、現在、約80社が会員となっている。



知多半島を舞台に毎年開催される「アイアンマン70.3セントレア知多半島ジャパン」

知多半島は、日本で唯一アイアンマン70.3が開催される地で、多くのサイクリストが訪れることから、バイクスタンドの設置を最初の事業に選んだ。サイクリストのロードバイクにはスタンドがないため、地域の店が

利用されることは少なかった。ところが、バイクスタンドが普及すると一気に口コミやブログで広まり、利用者は

大幅に増加。今では知多半島全域、さらには三河方面にも広がり、100店舗以上に設置されている。

2015年には、知多半島を自転車で一周する大会を開催した。1,000人以上が参加するという成果を

あげたが、行政や警察との調整に半年もかかったため、榊原さんは本業のある会員たちに負担を強いたと反省。1市・1町で完結できるものを探しはじめたところ、「ロゲイニング」という野外スポーツを知ることとなった。



バイクスタンドの普及はサイクリストと店主の双方から喜びの声があがっている

ロゲイニングを通じて知多半島のファンを増やす

ロゲイニングとは、配られた地図をもとに、名所旧跡

や飲食店など多数設置されたチェックポイントを巡り、制限時間内に得られた点数を競うスポーツだ。

2016年に試しにSNSの発信のみで大会を開催したところ、120人以上が参加するという予想外の成果を得た。しかし、ポイントの集計に時間がかかり過ぎるという課題が残った。そこで独自のアプリを開発することで集計時間を短縮。「知多半島ロゲイニング」として年2回のペースで、1市・1町ずつ順に大会を開催し、回を重ねるごとに人気は高まっている。大会では、チェックポイントで撮影した写真をSNSに投稿する



昨年の半田大会には350人超が参加した

参加者も多く、食べ回り・買い回りも発生するため、行政からは毎年の開催を懇願されるほど歓迎されている。

榊原代表がロゲイニング大会を開催する真の目的は、参加者を表彰台に登らせること。「その得難い思い出は心に残り、その街を好きになり、また遊びに来るという循環を生む。そういう地域のファンをつくってきたい」という。そのために参加カテゴリーをできるだけ増やし、より多くの人々が表彰台に登れるようにしている。

但し、この事業はあまり利益のあがるものではなく、将来を考えると若い人材を雇い、事業を継続していける体制をつくっていかなければならない。そこで企画したのがおもてなしツアーだった。ツアーを開催するにあたり、榊原代表がセントレアに協力を求めたところ、CHITA CAT プロジェクトでも同様のツアーを検討しており意見が合致。知多半島ナビは強力なパートナーを得て新しい事業を展開していくこととなった。



表彰式で勝者インタビューを受ける参加者

空港島内の新施設開業に伴い国際交流拠点が形成されていく

インバウンド需要を狙い観光関係者が動き出す



「FLIGHT OF DREAMS」は、ボーイング787初号機の展示をメインとした複合商業施設

空港島内では、昨年10月に「FLIGHT OF DREAMS」が開業し、今年度は、上期にLCC向け新ターミナルビル、8月30日に愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」が開業する。さらにはホテルの開

業ラッシュで客室数は3,500室近くにまで倍増し、しかも宿泊者の多くはインバウンドとなる見込みだ。

これらの需要を見据えて観光関係者の動きが加速する中、CHITA CAT プロジェクトも空港島内で増大するインバウンドを積極的に取り込もうと、おもてなしツアー、特に夜のツアーを充実させようと計画中だ。現在、数々の試験メニューを企画し、外国人が興味を示す観光資源の発掘に励んでいる。

地域とともにさらなる発展を目指して

CHITA CAT プロジェクトが立ち上がってから3年半近く経つが、地域ではセントレアとイオンモールに対するイメージがガラッと変わったと言われるそうだ。

もともと地域の小規模店舗にとって、大型商業施設の進出は大きな脅威として捉えられていた。それがCHITA CAT プロジェクトの活動を通じて、同じ志を持ち、地域のことを第一に考え、協力してくれる仲間だと分かり、歩み寄ることができた。

また、CHITA CAT プロジェクトには、やる気に満ち溢れたメンバーが集ったことで、3年半という短期間で多くの実績を上げることができた。この取り組みに対するセントレアとイオンモールの社内評価は非常に高く、横展開していくべきという声もあがっている。そのためにも、まずは常滑で成功事例を築き上げ、知多半島、さらには中部、昇龍道へと広がっていくことを目指している。地域の皆から、「この地にセントレアがあって良かった、イオンモールがあって良かった」と喜んでもらえる、そんなゴールを夢に描いて。



来日客にクーポンを手渡すメンバーたち

文：総務部 櫻井 景子
取材協力：中部国際空港(株)、
イオンモール常滑、
(株)知多半島ナビ



CHITA CAT OMOTENASHI TOUR

日本遺産の街・常滑で古き良き日本を見つけてみませんか！

① やきもの散歩道と絵付け

散策／絵付け・日本のお茶体験

徒歩コース：3時間

ツアー代金：7,500円/1人(交通費別途)



常滑駅

② 暮布土屋通り



① 招き猫通り



③ 瀧田家



④ 土管坂



⑤ 土管坂休憩所
(絵付け・日本茶)



体験

⑥ でんでん坂



常滑駅

② 日本遺産と写仏

日本遺産「登窯」/お寺で写仏体験

サイクリングコース：3時間

ツアー代金：7,500円/1人(交通費別途)



常滑駅

体験

② 大善院(写仏)



③ 暮布土屋通り



⑤ 海岸線サイクリング

① やきもの散歩道(登窯)



④ 招き猫通り



常滑駅

集合場所：中部国際空港 旅客ターミナルビル 2階(到着ロビー) Tourist Information & Service 受付
 ツアー概要 ▶ 遂行人員：最小2名、最大5名 予約締切：前日15:00まで(完全予約制)
 対応言語：日本語、英語、中国語 対応時間：9:00～17:00(終了時間)
 ツアー代金に含まれるもの：同行者、体験費用、レンタルバイク、ヘルメット、グローブ、保険、消費税

ツアーの詳細・予約は、<https://omotenashi-tour.jp>まで

他にも常滑を深く
体感できるさまざまな
コースがあります

知多半島ロケイニング in 鉄のまち東海市

風光明媚な知多半島を舞台に観光×スポーツをあわせた
ロケイニングを楽しもう！

ファミリーからガチランナーまで楽しめます！

開催日：2019年11月10日(日) ※予定

主会場：太田川駅前 大屋根広場(愛知県東海市大田町後田65)

- ① 地図を読んで作戦を立てる！
- ② 歩いて&走ってチェックポイントを探そう！
- ③ 写真を撮って点数を集めよう！

チーム制(2～6名)またはソロ(1名)

- ・3時間の部 男子・女子・混合・ファミリーAB
- ・6時間の部 男子・女子・混合・ソロ男女



過去の大会の様子

大会の詳細・申し込みは、<http://chita-roge.asutama.com/>まで